

那須 英二 議員
日本共産党弥富市議団

問 災害時を想定した備えの強化を
答 さらなる自助の啓発に努める

問 尾張大橋の架け替え、堤防強化の進捗状況は。

答 建設部長 架け替えの計画は決まっていない。堤防強化は天端盛土による堤防嵩上工事は完了。尾張大橋前後の堤防は橋梁架替事業での対応。

問 対策は。

答 点検結果に基づく損傷状況等を踏まえ、架け替えの検討を含め修繕等の対応を進めている。

問 各学校は何日分の食料と飲料水が確保されているか。

答 企画部長 学校ごとではなく、市全体として、6万2800食、耐震性貯水槽で240トン。

問 学校の備蓄を増やしていく考えは。

答 企画部長 備蓄計画に基づき配備している。不足が生じた場合は、物資支援の協定を活用し供給する。

問 学校にウォーターサーバーを設置する考えは。

答 教育部長 導入は考えていない。

問 想定最大規模の浸水発生時、避難所として使用できる体育館は。

答 企画部長 総合社会教育センターのみ。

問 市内排水機の想定排水能力は。

答 建設部長 3日間連続雨量341ミリを計画基準雨量としている。



▲桜小学校の冠水の様子（9月8日）

問 物価高騰から生活を守る対策を
答 市民の暮らしに寄り添う支援

問 小学校給食費の完全無償化は。

答 教育部長 現時点では、考えていない。

問 市独自で中学校給食費の負担軽減を行う考えは。

答 現時点では、考えていない。

問 市独自で保育所給食費の負担軽減を行う考えは。

答 健康福祉部長 すでに副食費は値上げを据え置いているため、さらなる軽減や無償化は考えていない。

問 物価高騰対策のため、高齢者配食サービス利用券の増額を検討する考えは。

答 健康保持のため、外出機会を創出するのが目的であり、考えていない。

問 「物価高騰から市民の暮らしを守る弥富市」を実現するため、重点的に取り組んでいく施策は。

答 市長 国や県の経済対策の動向を注視し、市民の暮らしに寄り添う支援に努める。